

No. 2880

2018-2019年度

会 長 上野山 栄作

幹 事 嶋田 崇

R広報委員長 菅原 佳典

担当：丸山委員・中村委員



第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 事務所 〒649-0304
 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータリークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020
 創 立 昭和34年6月15日
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>
 e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



2018-2019年度クラブ方針

Take Action and Enjoy!

行動を起こそう！そして楽しもう！



本日のプログラム

- 平成30年8月9日 第2881回
 ・ 会員増強フォーラム 会員組織委員会
 ・ ソング：「それでこそロータリー」

次回のお知らせ

- 平成30年8月25日 第2882回
 ・ 外部卓話：望月 良男 氏（有田市長）
 「子どもたちへの市政メッセージ」
 ・ ソング：「四つのテスト」

前回の報告（第2880回例会）

開催日 平成30年8月2日(木)

点 鐘 (上野山(栄)会長)

ゲストの紹介 (上野山(栄)会長)

ゲスト：井上 信太郎 様(善兵衛農園 代表)

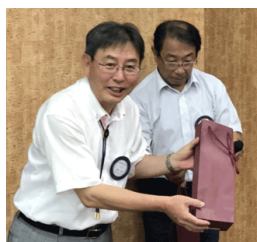
今月の誕生・結婚祝

(石垣(泰)親睦活動委員長)

会員誕生：橋本君、岩本君、原君

配偶者誕生：井上恵美さん

結婚記念：なし



8月のお誕生日

左：橋本君
 右：岩本君

お誕生日
 おめでとう
 ございます。

会長の時間 (上野山(栄)会長)

「子どもの底力」

子どもの順応力とパワーはすごい
 ですね。特に小学校の低学年まで
 の幼児教育の重要性が実感できた
 のは息子の運動能力でした。

私は彼が2歳のときから自転車に
 乗せて一緒に走り回ったり、ハード
 な運動をさせていました。おかげで
 運動能力は人一倍育ったのではな
 いかと思っています。今は中学2年



生ですが中学校に入ってから成長速度も早く、身長は
 もう抜かれそうですし、バスケの実力もすでに私が高校の
 とき以上で全く歯が立たないです。強いチームと対戦すれ
 ばするほど、その度に成長していく、その順応力は止まる
 ところを知らないです。

考えてみると、大人には子ども達により多くの経験をさせ
 成長を促す行動を起こさせる責任があるのだと思います
 す。そう実感できることが今回のロータリーデーの事業の
 中で見えました。ワークショップが進むにつれ、素晴らしい
 潜在的な夢が浮かび上がってきました。学生さんの発想
 の底力を見たようでした。出るわ、出るわの素晴らしい意
 見。今回集まってくれていたのは41名の方々と、14グ
 ループほどに別れて企画を進めましたが、2時間ほどで意
 見もうまくまとまり、1ヶ月先の8月25日の発表会に向け、
 チーム内で深い絆が生まれ企画をまとめることとなりました。
 あんな姿を見せられると、本当に子どもって「伸びしろ
 があるなあ」と思いました。逆にこんな風にしっかり考えて
 いる子ども達に、大人も応えていかなければならない、大
 人の責任をつくづく感じました。タイトルの「僕らが有田を
 楽しいまちにする」は、先ずは「大人が子ども達に楽しい
 夢を見せられるまち」でなければ大人のエゴになってしま
 いそうです。有言実行の大人の背中を見せて行きたいもの
 です。

今月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。ロータ
 リーとは上記のような大人の集まりであれば、会員増強も
 潤沢に行えるはずだと思います。皆さんはどう考えます
 か？

幹事報告 (嶋田(崇)幹事)

1. 地区よりクラブ会長会議の案内が届いている。→上野
 山(栄)会長
2. 地区よりクラブ青少年奉仕関連委員長会議の案内が
 届いている。→川口社会・青少年奉仕委員長

3. (公財)ロータリー日本財団より平成30年1月から6月までに財団寄付をされた方に確定申告用の領収書が届いている。4名の会員にお渡ししています。
4. 平成30年7月豪雨災害の義捐金は総額6万円でした。→地区へ送金済。
5. 8月のロータリーレートは、1ドル112円です。
6. 第2回定例理事会を例会終了後、この場所で開催します。

委員会報告

- * 国際奉仕委員会(橋爪(誠)委員長)
ミャンマー国際奉仕への参加は本日締切です。
- * 社会・青少年奉仕委員会(川口委員長)
薬物乱用防止「ダメ・ゼッタイ」運動への協賛の御礼
- * ロータリーデー部会(川口委員長)
 - ①7/26の合同ワークショップへの御礼
 - ②8/25ワークショップ発表会の案内
 - ③8/9例会終了後、ワークショップのテーブルリーダーミーティングを行います。

出席報告 (井上例会運営委員)

本日の会員数30名
 (出席規定免除会員9名)
 出席会員数26名
 (出席規定免除会員9名)
 86. 67%
 7/19 86. 21%
 MU:成川(守)君、嶋田(ひ)君

ニコニコ箱の報告 (松村SAA)

上野山(栄)君:先週のロータリーデー、会員皆様のご協力のもと、充実して運営出来たと御礼申し上げます。井上信太郎様、ようこそ有田RCへお越し下さいました。

嶋田(崇)君:井上さん、卓話宜しくお願いします。ロータリーデー、みなさんお疲れ様でした。8月も宜しくお願いします。

川口君:井上様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話宜しくお願い致します。また先日のロータリーデーに皆様ご協力ありがとうございます。

成川(守)君:本日、トロント国際大会の報告をさせていただきます。一粒ですがカナダのチョコレートを味わって下さい。

児島君:井上さん、有田RCへようこそ。お話し楽しみです。

橋本君:井上信太郎さん、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願いします。

橋爪(誠)君:井上さん、ようこそ有田RCへ。本日よろしくお願いいたします。

児嶋君:井上信太郎君の卓話、楽しみにしています。ようこそ有田ロータリークラブへ。

中元君:井上さま、ようこそ有田RCへ。

木本君:井上信太郎さん、本日の卓話宜しくお願い致します。

ます。

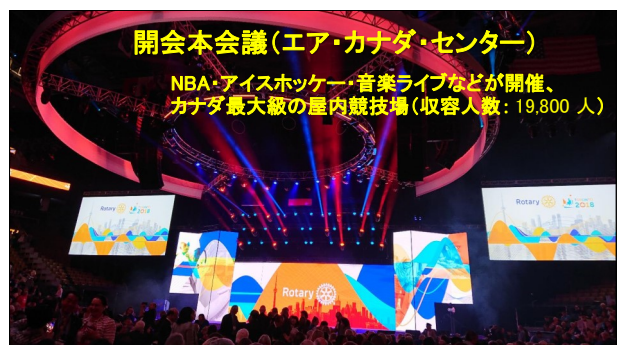
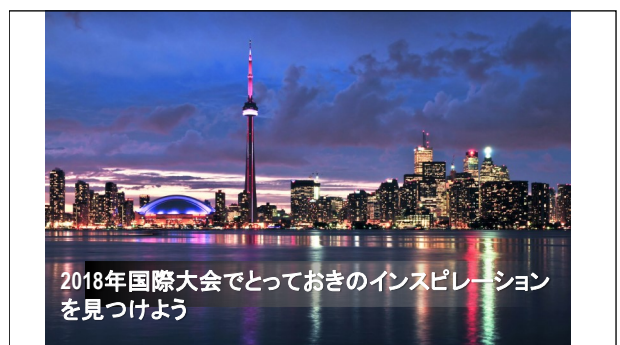
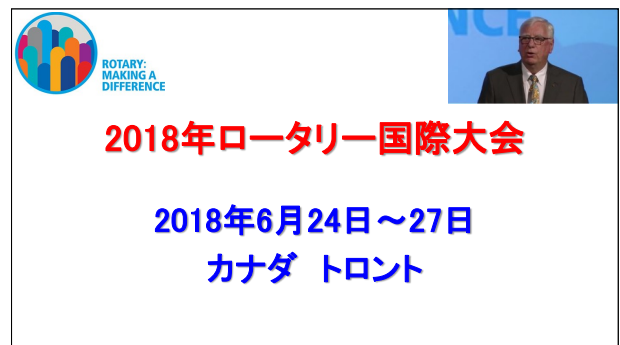
上野山(捷)君:井上信太郎様、本日の卓話、ありがとうございます。

松村君:井上信太郎様、卓話楽しみです。勉強させていただきます。

国際大会の報告

トロントで開催された、2018年ロータリー国際大会に参加した成川守彦君、橋本拓也君、菅原佳典君よりそれぞれ報告がありました。

<成川守彦君>



卓 話

「地域のファンを増やすために自分ができること」

善兵衛農園 代表 井上 信太郎 様



ネパール(カトマンズ)のロータリアン②
バナーの交換、プロジェクトの依頼を受ける



6月25日(月) 15:00-16:30 会場 201
2019 Council on Legislation



規定審議会分科会への途中、
偶然、バリー・ラシン RI会長エレクトと遭遇

<橋本拓也君・菅原佳典君>

「トロント国際大会に参加して」

関空からトロントへ羽田で乗り換え約14時間。トロント国際空港にて大会バッジを受け取り車でホテルへ。次の日は念願のナイアガラ観光、待ち合わせ場所からバスにてナイアガラフォールズへ。船に乗り滝を見学、昼食は滝の見えるレストラン。ナイアガラ・オンザ・レイクの19世紀頃の英国の街並みなどを散策しワイン醸造所での試飲などをしトロントへ、CNタワーに昇るなど、この日は観光で一日を終えました。

3日目、開会式当日です。残念ながら朝から雨模様。午前の空いた時間でディズレーリー地区などトロント市内を観光。この日行われたサッカー・ワールドカップ、日本対セネガル戦をショッピングモールのスポーツパールのフードコートで昼食を摂りながら観戦。午後、開会式会場のエア・カナダ・センターへ、移動はロータリアン専用のシャトルバス。厳重なセキュリティの中入場。開会式はオープニングセレモニーの後RI会長の点鐘で始まり、アン王女の講演など盛り沢山の内容。時間の関係上、開会式中座し友愛の家へ移動、開会式の時間と重なり人もまばらで、結局今回バナー交換をすることは叶いませんでした。この日の夜は地区ナイトで会場のSassafratzにUberで移動。地区ナイトでは岡本地区会長の挨拶に始まり、食事会、参加者の紹介などが行われました。ひとつ残念だったのは料理が予想とかけ離れていたこと。

4日目、この日でトロントともお別れです。ホテルの近くを散策しお土産などを買って空港へ。航空券の発行やセキュリティチェックなど時間はかかりましたが無事関空まで帰ることが出来ました。橋本さんご夫婦のお陰もあり4日間の短くも楽しい旅を終えることが出来ました。感謝。

湯浅町の田村というところでミカン農家をしています井上と申します。私達の農園とコミュニティハウスを通して活動している地域のファンづくりについてお話をさせていただきます。

農園としては「みかん(農業)の魅力を発信する存在になる」ということを目標としています。例えば東京や大阪でのイベントでジュース生絞りのイベント出店、保育所や小学校でのみかんのお話やジュースの提供などしています。一方コミュニティハウスは、2016年8月にスタートしました。目的は地域のファンを増やすための滞在できる窓口的な存在になることです。きっかけは東京のみかん好きの大学生との出会いから始まりました。彼らは和歌山のみかん畑に行ったことがなかったようで「行きたい!」と言ってくれ、そのための受け入れ施設として地域内で空き家を探し使えるように地域の若者で掃除しました。その場所は若者が集まる紀州和歌山の秘密基地として「紀家(きち)わくわく」という名前に決まり、2016年9月に学生の滞在受入をスタートしました。ちなみに滞在の形として「ワーキングホリデー」という手段をとっています。農家のところで農作業をして労働力を提供するかわりに寝食が提供されるという無償の援農ボランティアです。このスタイルで2018年7月までに延べ170人近くの大学生が来てくれました。ほとんどの学生がリピーターとして何度も足を運んで来ています。その受入をしている中で学生が地域で主催した企画が二つあります。「日本みかんサミット」と「大学生夏合宿」です。日本みかんサミットは全国のみかん関係者(農家、自治体、JA、市場等流通業者、野菜ソムリエ等)200人が一同に会するイベントになり、湯浅町役場で開催されました。また「大学生夏合宿」は田村小学校の授業時間を使って子ども達とみかんを通して交流(大学生によるみかんの授業やウォークラリー)する企画も生まれ、地域に今までなかった大学生と小学生との世代間交流が生まれました。このコミュニティハウスではこのような大きなイベントだけではなく、月に一度の食事会も開催し小規模でフラットな集まりも開催しています。みかん農家座談会や中晩柑類の柑橘食べ比べ会も行っています。

今後の展望としては、今まで田村に来た歴代ワーキングホリデー参加学生を一同に呼んで「大同窓会」をしたいと思っています。過去には、「みかん」を好きで田村に来ていた学生が、次に来てくれた理由が「田村のお祭り」に変わっていたことがありました。みかんを手段に地域のファンを増やすことができると感じた瞬間でした。大同窓会を開催することで、一層「田村」を、そして「有田」を特別な場所に思ってもらえればと思っています。



閉会・点鐘 (上野山(栄)会長)